

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0408	新エネルギー導入推進事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-1 環境の保全			
	施策	1 地球温暖化の防止			
目的	新エネルギーの普及				
対象	市民、事業者				
意図	地域特性を活かしたエネルギーの導入を検討するとともに、地球環境に配慮した新エネルギーの活用に取り組む。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○花巻市新エネルギービジョン策定に係る調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートの実施 一般市民、事業者、小中学生を対象に、新エネルギーに関するアンケートを実施</li> <li>省エネルギー診断 市役所本庁舎・新館および石鳥谷総合支所のエネルギー管理状況などを診断、改善の提案等を受けた</li> <li>基礎調査 エネルギー・地球環境問題の国内外動向調査や地域の新エネルギー賦存量調査などを実施</li> <li>環境審議会の開催</li> <li>庁内調整会議の実施</li> <li>花巻市の新エネルギーに関する報告書の作成</li> </ul>				
市民参画の有無	〔 パブリックコメント (H26.12実施予定) 〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①		計画			
		実績			
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
/		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・環境に配慮したまちづくりを行うことは総合計画や環境基本計画にも課題として捉えられており、新エネルギーの活用は地球環境に配慮した施策であるため妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・新エネルギーの効果的な普及に努めるために、検討していかねばならない。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・職員は当該事業を実施するための最低限の事務をおこなっていることから、人件費の削減余地がない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・全市民を対象にしているため適正である。
	○ 適正である	
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>新エネルギーの利活用は地球環境の保全には欠かせないことであり、より一層市民が環境を守ることや地球温暖化の防止に対する意識向上を図っていくことが重要であり、現行の環境基本計画にも位置付けられている。</p> <p>そのため、当初は花巻市新エネルギービジョンの策定を目指していたが、再生可能エネルギーの導入に係る固定価格買取制度の内容が流動的であったこと、具体的なプロジェクトを示すことができなかったことなどから、パブリックコメントを中止し、当市の新エネルギーの利用可能性についての報告書の作成にとどまった。</p>		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	04	01	07	0408	新エネルギー導入推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			4,162		4,162
財源内訳	国・県				0
	地方債				0
	その他				0
	一般財源	0	4,162	0	4,162

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	----------------------------------------	----------------------------	-----------------

部重点施策における目標

市民が豊かな自然と心地よい環境で暮らせる生活環境の安定を図ります。

事業開始の背景・経緯

花巻市環境基本計画に掲げているエネルギービジョンの策定が実行されておらず、現状における地域特性を活かしたエネルギー導入の方向性が市民へ示されていないことから、新エネルギービジョンを策定し、恵まれた自然と調和のとれたまちづくりを推進しようとするものである。

事業概要

○花巻市新エネルギービジョン策定に係る調査

- ・市民アンケートの実施  
一般市民、事業者、小中学生を対象に、新エネルギーに関するアンケートを実施
- ・省エネルギー診断  
市役所本庁舎・新館および石鳥谷総合支所のエネルギー管理状況などを診断、改善の提案等を受けた
- ・基礎調査  
エネルギー・地球環境問題の国内外動向調査や地域の新エネルギー賦存量調査などを実施
- ・環境審議会の開催
- ・庁内調整会議の実施
- ・花巻市の新エネルギーに関する報告書の作成

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・当初、花巻市新エネルギービジョンの策定を目指していたが、当市の新エネルギーの利用可能性についての報告書の作成にとどまった。
- ・しかし、新エネルギーは地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を減少させるほか、地域特性に合った新エネルギーを導入することで、エネルギーの地産地消を進めるばかりでなく地域活性化に資する部分もあることから、今後の利活用方法が課題である。

担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 似内 泉 内線 255

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

花巻市新エネルギービジョン策定

計画期間：平成27年度～平成35年度（9カ年）

1 基礎調査

- ・市民アンケート
- ・エネルギーの消費構造調査
- ・エネルギーの賦存量調査

2 庁内検討委員会

3 市民参画

- ・環境審議会
- ・関係団体からの意見聴取
- ・パブリックコメント

4 計画策定

○事業費

新エネルギービジョン基礎調査 4,162千円